

# 青少年もがみ

第13号 平成23年2月1日

— 発行 —

最上地区青少年育成市町村民会議連絡協議会  
最上地区青少年育成推進員連絡協議会



## 「多くの人に支えられ理想の大人へ」

最上地区青少年育成市町村民会議連絡協議会会長 矢口 信一

今年度は、最上総合支庁の組織改変により青少年育成担当課が地域支援課から子ども家庭支援課に、さらに「山形県あすをきずく青少年県民会議」の名称が「山形県青少年育成県民会議」へ変更され、新たなスタートとなりました。

さて、最上地域の高校生と青少年育成関係者が一堂に会し、ひざを交えて話し合う「最上地区青少年育成懇談会」も今回で7年目を迎え、12月11日(土)に開催されました。事前の2度の準備委員会において、昨年度までの反省を改善すべく、さまざまな方向転換について協議しました。具体的には、開始時刻の厳守、開会行事の短縮、参加高校生の増員、4から6グループ編成の懇談、円卓・対面方式、さらに、助言者・司会者等全てボランティアによる運営など、ハンドルの30度ほど切り替えたところです。

テーマに「さすがに大人は手本、青少年もなかなかやるね」を設定し、事前にテーマに沿った50文字提案を参加者からお寄せいただき、これらを集約して本番を迎えさせていただきました。参加された皆様方、新企画の効果は如何だったでしょうか。

懇談会においては、高校生が大人（両親）の姿をしっかり捉え感謝していること、身近におられる学校の先生を尊敬していること、ボランティア活動を通して地域の方々と関わっていること等、素直で明るい高校生の考えや思いを多く聞くことが出来ました。それぞれの地域や家庭で、青少年育成と子育てがしっかり行われていることを実感し、大変嬉しくなりました。本懇談会の開催にご尽力されました関係各位に心より感謝申し上げます、重ねて来年度もご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## 平成22年度 これまでの主な事業

※青少年もがみ第12号掲載以降

### ●少年の主張最上地区大会

8月30日（月）13：30～ 金山町立金山中学校

●最上地区内14中学校から1名ずつ出場（男子4名・女子10名）し、うち5名が9月の最北地区ブロック大会への出場権を得る。

●最優秀：金山中3年岸睦朗 優秀：角川中3年甲州春貴  
優良：日新中3年大石真衣子、萩野中3年梅本優希、及位中3年齋藤匠

### ●最上っ子づくり推進地区学習会

10月13日（水）19：00～ 新庄市民プラザ

●最上地区中・高校長連絡協議会主催、中・高の保護者と高校生が100名参加

●講演「『ソバ栽培』元気な農業経営を語る」

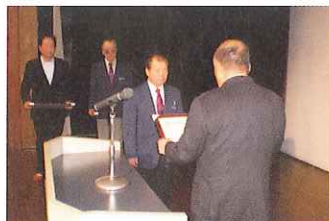
講師：大蔵村赤松「巖神権現蕎麦」店主 加藤和之 氏

### ●全国「子ども・若者育成支援強調月間」

11月1日（月）～30日（火）

●趣旨：子ども・若者の健やかな育成、子ども・若者が社会生活を円滑に営むことができるようにするための支援や取り組みを行う。

●取組み：『大人が変われば子どもも変わる』運動と重ねて、各市町村で強調運動を展開。最上総合支庁では、庁内放送で職員や来庁者に呼びかけ、また、広報車による最上



地区内街頭広報活動を実施。

### ●最上地区「青少年育成推進員研修会」

11月6日（土）14：00～ 大蔵村「肘折いでゆ館」

●感謝状贈呈（最上総合支庁長名）

金山町：大場孝 戸沢村：齋藤信弥・加藤政一

●講演「定年おやじの全国自転車一周の旅」

講師：新庄市民プラザ館長 齋藤彰 氏

●参加者：青少年育成推進員等47名、来賓等3名

### ●山形県青少年健全育成県民大会

11月7日（日）13：00～ 長井市民文化会館

●表彰及び青少年3団体活動発表

●講演「地域の力を活かして子どもを守る」

講師：関西国際大学人間学部教授 桐生正幸 氏

### ●最上地区「青少年育成懇談会」

12月11日（土）9：10～ 新庄市民プラザ

●テーマ「さすがに大人は手本、青少年もなかなかやるね」

●高校生と青少年育成関係者が90名参加

●50文字提案を基に6グループで懇談

